

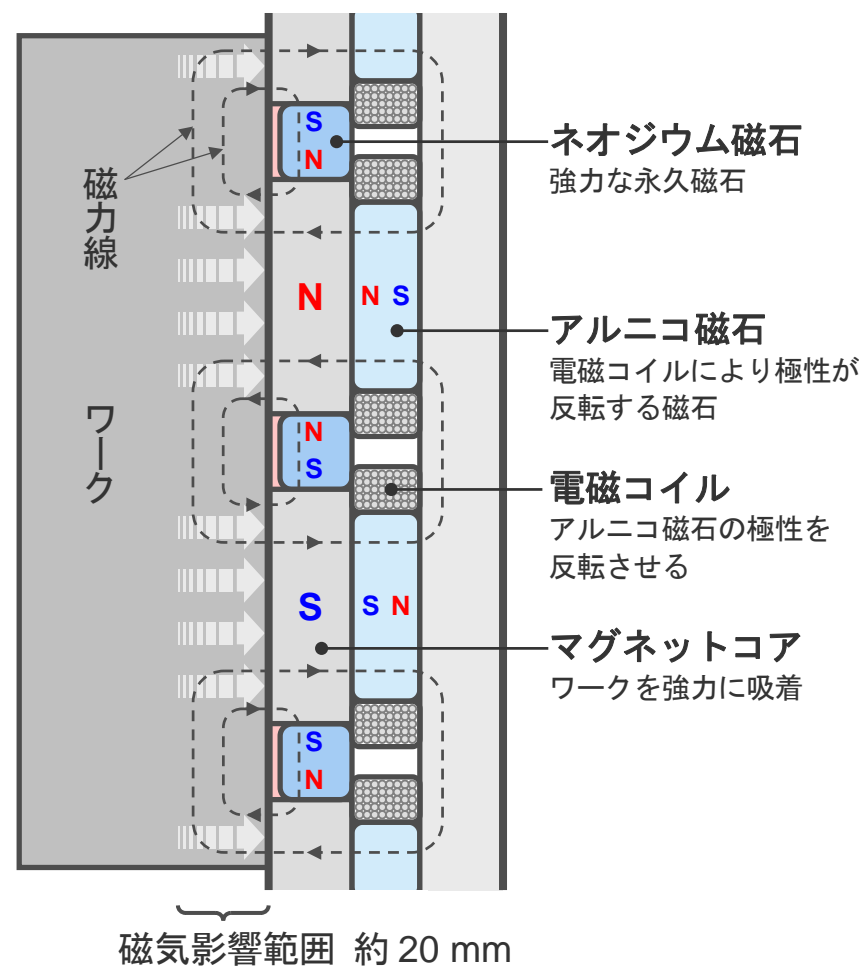
# Magnet clamp

マグネットクランプの構造と働き

CLAMP

## クランプ時(着磁状態)

- ① 電磁コイルに0.5秒間通電。
- ② アルニコ磁石の極性が反転。
- ③ ネオジウム磁石とアルニコ磁石が同極化。
- ④ マグネットコアが強力な磁石になりワークを吸着。



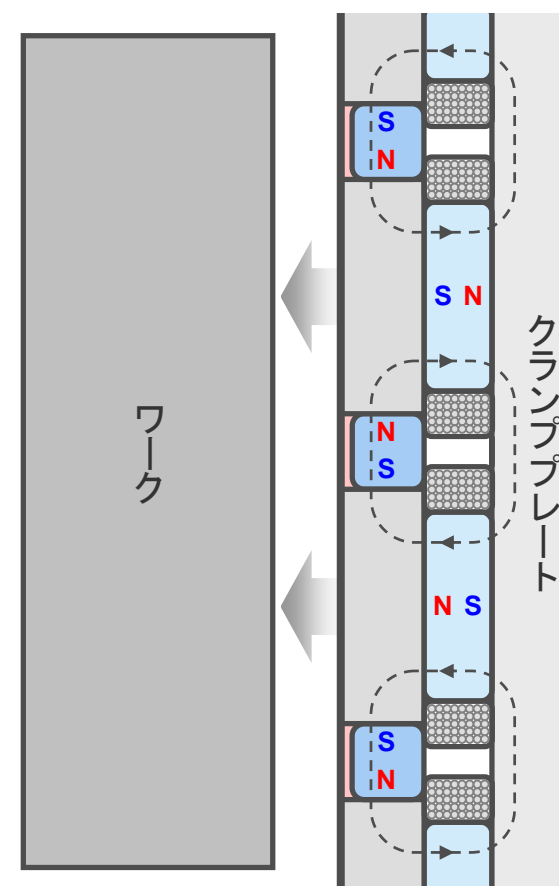
### 強力なクランプ力

ワーク面積 □100mm 当り **1.5 tonf (14.7 kN)**  
(クランプ中は通電不要です。)

UNCLAMP

## アンクランプ時(脱磁状態)

- ① 電磁コイルに0.5秒間通電。
- ② アルニコ磁石の極性が反転。
- ③ ネオジウム磁石とアルニコ磁石の磁力線がマグネットコア表面に出なくなりワークをアンクランプ。



### 残留磁力ほとんど無し

アンクランプ時の残留磁力 **20 ガウス**  
(エアブローで切粉が除去できる程度です。)